

日本で初めて女性消防士が誕生した昭和44年以降、その人数は増え続けており、平成30年4月1日現在、全国には約4,500人の女性消防士がおり、消防隊、救急隊、救助隊、指令業務、予防業務など、様々な業務で活躍しています。

町では、現在2人の女性消防士が活躍しています。女性消防士が増えることで、消防業務の幅が広がることも期待されています。



# 女性消防士が

## 活躍しています！



### 地域の安全安心を守るという使命

消防という仕事は『男性の職場』というイメージが強いですが、地域には老若男女誰もが生活しており、人々の生活と密接に係る消防の仕事には女性の存在も必要不可欠です。

また、災害現場では、迅速か

### 女性消防士に聞きました！

#### 消防士をめざしたきっかけは？

私は小さい頃から人の役に立つ仕事に就きたいと思っていました。小学生のときに消防署見学へ行った際、女性隊員の働く姿をみてかっこいいと思ったことがきっかけで消防士をめざし、専門学校で救急救命士の資格を取得しました。

#### 消防士のやりがいとは？

大磯町では、他の消防本部と違い、救急現場だけではなく、火災現場や救助現場にも出動し、活動するため、消防士として様々な仕事ができます。そのため、様々な知識や技術が必要になるので大変ですが、その分やりがいもあると感じています。

#### これからめざすところは？

女性隊員がいることで、傷病者へ安心感を与えることができ、「女性がいてくれて良かった」と思ってもらえる消防隊員になりたいです。



梅田消防士  
(平成30年度採用)

**消防士をめざしたきっかけは？**  
私が消防を志すきっかけとなったのは、東日本震災です。テレビで救助をしている映像やボランティアの方々を見て、「人の役に立つ仕事や人の命に携わる仕事に就きたい」と思いました。

#### 消防士のやりがいとは？

私は救急救命士として主に救急隊として従事していますが、救急現場では、女性ならではの優しさや繊細さを生かし、患者さんの不安を少しでも取り除けるように接しています。子どもや若い女性の方、妊婦さんなどへの観察や処置は私が中心に任されており、女性にしか務まらないことや、女性でも必要とされる現場があったときにやりがいを感じています。

#### これからめざすところは？

町民の方々が安心して暮らせるような地域づくりに貢献していきたいです。

問消防署 ☎ (61) 0911



植松消防士  
(平成30年度採用)